

【長崎県西海市】 校務 DX 計画

令和 5 年 3 月、文部科学省から「GIGA スクール構想の下での校務 DX について～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」が通知され、次世代の校務 DX の方向性が示された。

また、同年 9 月、「校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検を実施したところ、本市の成果と課題が明らかになった。そこで、自己点検の結果を踏まえて、本市では、次の取組を進めていくようにする。

1 FAX でのやり取りや押印の見直し

令和 6 年度、「西海市立小・中学校 執務指針」の見直しを実施し、教育委員会や各学校が校務 DX に対応した業務を進めることができるようにした。その中で、FAX でのやり取りや押印についても、不要と判断できるものについては、積極的に廃止した。

2 学校ホームページの規格統一

令和 7 年度から、市内すべての小・中学校の学校ホームページの規格を統一することで、更新作業の共通化と効率化を図る。また、ホームページを効果的に活用することで、保護者に対する各種連絡のペーパーレス化を推進する。

3 学校と保護者間の連絡手段をデジタル化

令和 7～8 年度のうちに、市内すべての小・中学校の保護者連絡ツールを統一することで、保護者への連絡手段をデジタル化し、教職員の業務改善や連絡文書のペーパーレス化を実現していくようにする。

4 「教育 DX 研究指定校」による先進的な取組の検証

令和 6～7 年度、市内の小学校 1 校を「教育 DX」の研究校に指定し、ICT を効果的に活用した授業改善や業務改善についての研究を進めている。令和 7 年度には、研究発表会を開催し、その先進的な取組の検証結果を市内の小・中学校と共有していく。

以上のような取組を推進しながら、文部科学省が実施している「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の動向を踏まえ、校務システムの更改のタイミングにおいてスムーズに次世代の校務システムに移行できるよう、校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討を実施していくようにする。